

【開会挨拶】

和歌山県町村会定期総会開会挨拶

本日ここに、第96回 和歌山県町村会 定期総会を開催いたしましたところ、仁坂県知事様をはじめ、御来賓の皆様には、公務御多忙のところ御出席を賜り厚く御礼申し上げます。

また、町村長の皆様には、御多用のなか御参集を頂き、心から感謝申し上げます。

本日、栄えある自治功労者の表彰を受けられる55名の皆様におかれましては、永年に亘りそれぞれの職務に精励され、町村自治の振興発展に大きく貢献された功績が認められたものであり、ここに深く敬意と感謝の意を表するとともに、今後一層の御活躍を御期待申し上げます。

さて、未曾有の大災害となりました「東日本大震災」の発生により、改めて防災対策の重要性と地域住民の安全確保のための避難体制等について大きな警鐘を鳴らすことになりました。本県においても早急な防災対策の見直しが必要とされております。

また、福島原発の事故によりこれからピークを迎える電力需要量に対する供給量不足が、住民生活と経済活動に大きな影響を及ぼすことが危惧されておりますが、今後の我が国においては、地球温暖化等の環境問題へ積極的に対応しながら、原子力や火力にたよるだけでなく、自然エネルギーの活用を含め、新たなエネルギー政策の立案が求められております。

国においては、早急な震災の復旧・復興に向けて、新規立法措置や財政措置の大幅拡充を図るべきであります。一方でその財源捻出が大きな課題となり、増税や復興国債の発行等が議論されております。

今後も我々町村は、中央情勢に注視しながら、全国町村会をはじめ関係諸団体との連携を一層深め、町村が抱え、山積する様々な課題の解決に向けて、全力を尽くして参る所存でございますので、仁坂県知事様をはじめ御来賓の皆様におかれましては、これまで以上の御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本総会の議事と致しまして、お手許に配布のとおり、先ず始めに去る2月4日の理事会で決定されました平成21年度の決算、平成22年度及び補正予算及び平成23年度事業計画・予算の報告をすることとしております。

また、これらの案件の他、議案第1号の「決議」、議案第2号の「和歌山県町村会規約の一部改正」につきましても、本年4月5日開催の理事会において、十分審議され、それぞれ可決・認定を頂いておりますので、よろしくお願い致します。

なお、本総会をもちまして、私ども正副会長の任期が満了となります。

今日までの御協力に心から厚く御礼を申し上げますとともに、後任の正副会長の選任につきましても、お諮りすることに致しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、御参会の皆様方の御健勝と御活躍をお祈り致しまして、開会のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

